

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	22
実施計画事業名	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進	担当部署名	子育て支援課 保育課	
事業の実施目的及び概要	○子どもの健全な育成を図るため、子どもたちの放課後や週末などの安全で安心な居場所づくりに取り組むとともに、異年齢や世代間の交流や体験活動の充実を図ります。また、児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とした健全育成の場を提供します。さらに、子どもの現在及び将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、経済的な理由や家庭環境などによって困難を抱える子どもに対して、学習習慣の定着及び子どもの居場所の提供に努めます。 ○学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的な学童クラブの整備・改修を図るとともに、公立学童クラブの指定管理者への委託、民間学童クラブへの支援を行います。			
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 第2期子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) 児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) 学童クラブの実施及びサービス充実の検討 民間学童クラブへの補助の実施(13学童クラブ) 民間学童クラブ設置の検討 指定管理者による運営(24学童クラブ) 学童クラブの新設等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) 児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) 学童クラブの実施及びサービス充実の検討 民間学童クラブへの補助の実施(13学童クラブ) 民間学童クラブ設置の検討 指定管理者による運営(24学童クラブ) 学童クラブの新設等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) 児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) 学童クラブの実施及びサービス充実の検討 民間学童クラブへの補助の実施(13学童クラブ) 民間学童クラブ設置の検討 指定管理者による運営(24学童クラブ) 学童クラブの新設等の検討
事業費	622,647千円	622,647千円	622,647千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-3-1	児童福祉総務費	ひとり親家庭等生活向上事業
	3-3-5	児童福祉施設費	児童遊園に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	中央駅前地域交流館児童健全育成事業活動に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	子どもふれあいセンターに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	そうふけ児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	いんば児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブ施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・生活困窮世帯及びひとり親世帯等の児童(小学4年生から18歳まで)に対し、学習支援や居場所の提供を行うことで、学習習慣等の定着を図ることができた。(小学生登録者:12名、中高生登録者:29人)	当初予算	622,647,000円
	・児童館等事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間帯予約制で行った。児童館利用人数(そうふけ児童館11,544人)(いんば児童館3,594人)(子どもふれあいセンター5,501人)(中央駅前地域交流館3,923人)	予算現額	613,441,000円
	・牧の原第2学童クラブ(公立)、DUCK学童クラブ(民間)を開設した。	決算額	561,122,116円
	・公立学童クラブ(24学童クラブ)の運営を行った。 ・民間学童クラブ(13学童クラブ)への運営費補助を実施。 ・原学童クラブ(図書室)、滝野学童クラブ(図書室)、牧の原学童クラブ(空き教室)の整備を行った。 ※ 公設民営(指定管理者) 24学童クラブ・民設民営 13学童クラブ 計37学童クラブ	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子どもの学習支援事業の実施回数(1週あたり)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	4		
	児童館事業の周知(児童館だよりの配布)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	学童保育実施箇所数	箇所	目標値	33	34	35	35	35
			実績値	33	35	37		
学童クラブ入所定員数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,685	1,685	
		実績値	1,570	1,645	1,770			
学童クラブ新設・改修工事の実施数	箇所	目標値	2	1	—	—	—	
		実績値	2	1	3			
成果指標	子どもの学習支援事業利用登録者数	人	目標値	30	40	40	40	50
			実績値	31	32	41		
	児童館利用件数	人	目標値	80,600	80,700	80,800	80,900	81,000
			実績値	11,851	18,711	24,562		
	学童クラブ入所児童数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,685	1,685
			実績値	1,467	1,654	1,847		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童館利用について、感染防止対策のため施設の面積に応じて利用人数を制限したことにより、利用件数が伸びなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	児童館利用については、新型コロナウイルス感染症予防対策の行動制限が緩和されているため、今後は感染状況を見ながら利用人数の見直しを行っていく。また、学童クラブの待機児童解消に向けて、学童クラブの整備について検討していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	23
実施計画事業名	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組	担当部署名	子育て支援課、子ども家庭課、障がい福祉課
事業の実施目的及び概要	<p>○子どもと保護者にとっての心身の健康は充実した生活の基本であることから、親子の健康の保持増進をより一層図るとともに、望ましい食習慣の定着を図る食育を推進します。また、乳幼児健診や専門相談等を実施し、成長発達に支援が必要な乳幼児の早期発見及び親の育児不安等に対する支援の充実を図ります。</p> <p>○ひとり親家庭は子育ての負担が大きくなる傾向があるため、相談体制の充実や生活・就業・経済的支援等を行っていきます。また、全国で児童虐待の事件が後を絶たない現状を踏まえ、今後も育児不安や虐待などの問題に早期に対応するための相談体制の整備・充実を図ります。</p>		
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	母子及び父子並びに寡婦福祉法 母子保健法 児童福祉法 第2期子ども・子育て支援事業計画
取組方針	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診事業 出産育児支援事業 ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成 ひとり親家庭の自立支援及び子育て家庭の不安や悩み解消に向けた相談体制の整備・充実 虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 巡回相談等の実施 知識啓発のための定期的な学習会の開催 発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援センターへ移行) 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診事業 出産育児支援事業 ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ひとり親家庭の自立支援及び、子育て家庭の不安や悩み解消に向けた相談体制の整備・充実 虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 巡回相談、保育所等訪問支援等の実施 知識啓発のための定期的な学習会の開催 発達の遅れなどのある児童への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診事業 出産育児支援事業 ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関(子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合したこども家庭センター)において、虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 巡回相談、保育所等訪問支援等の実施 知識啓発のための定期的な学習会の開催 発達の遅れなどのある児童への支援
事業費	379,502千円	379,102千円	379,102千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	3-3-1	児童福祉総務費	子ども家庭総合支援拠点事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等医療費等助成に要する経費
	3-3-3	母子福祉費	児童扶養手当給付事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	子ども発達センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	母子保健事業
	4-1-3	母子衛生費	不育症治療費助成事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・ひとり親家庭に対し、各種手当や助成金の支給をするとともに、母子・父子自立支援相談を実施し、ひとり親家庭への福祉の増進を図った。	当初予算	379,502,000円
	・家庭児童相談を実施し、子育て家庭の不安や悩みの軽減を図った。	予算現額	390,815,000円
	・児童虐待防止のための周知・啓発を行うとともに、関係機関との会議等を行い、連携を図ることで、児童虐待の早期発見・早期対応に努めた。	決算額	366,967,250円
	・乳幼児健診事業は1歳6か月児健診を1,063人、2歳児歯科健診を951人、3歳児健診を1,364人が利用し、相談等対応に努めた。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ひとり親家庭等医療費助成の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3		
	相談事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	母子・父子自立支援員による相談事業実施日数	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	243	243		
乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)の実施率	%	目標値	92	94	96	98	100	
		実績値	95	95	99			
成果指標	ひとり親家庭等医療費助成件数	件	目標値	3,600	3,600	6,500	6,500	6,500
			実績値	6,322	6,613	6,672		
	母子・父子自立支援相談件数	件	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	35	39	66		
	児童家庭相談件数	件	目標値	360	360	360	360	360
			実績値	367	327	356		
	児童虐待相談件数	件	目標値	180	180	180	180	180
			実績値	258	234	245		
健やか親子21聞き取り項目育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	%	目標値	85	90	95	95	95	
		実績値	83	80	84			

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童数の増加や児童虐待についての認識の高まりにより、児童虐待相談件数が目標値より増加している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	児童虐待防止のため、周知・啓発に努め、関係機関と連携して対応していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	24
実施計画事業名	子育て家庭への切れ目のない支援	担当部署名	子育て支援課、保育課、子ども家庭課
事業の実施目的及び概要	○少子化や核家族化が進む中、育児の孤立化や育児不安が大きくなる前に支援することが重要であることから、子育て家庭が身近な地域で切れ目のない支援を受けられる体制づくりを推進するとともに、子育てに関する相談体制や情報提供体制の充実に努めます。 ○公立保育園での安全かつ質の高い保育サービスの提供及び老朽化した保育施設の計画的な改修整備を推進するとともに、民間保育園の運営に対する補助や民間保育園新設に対する施設整備補助を行い、保育サービスの充実と保育の受け皿拡大による保育園待機児童解消を図ります。また、保育を必要とする児童の受入れを行う民間保育園に対して、国が定める公定価格に基づき委託料を支出します。		
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 母子保健法 第2期子ども・子育て支援事業計画
取組方針	子育て家庭への切れ目のない支援		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当の支給及び医療費の助成 地域子育て支援拠点事業の実施 ファミリーサポートセンター事業の実施 子育てヘルプサービス事業の実施 養育支援訪問事業の実施 産後ケア事業の実施 ブックスタート事業の実施 子育て短期支援事業の実施 子育て世代包括支援センター事業の実施 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 内野保育園改修工事 子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) 各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) 民間保育園の運営に対する補助 民間保育園新設に対する施設整備補助 	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当の支給及び医療費の助成 地域子育て支援拠点事業の実施 ファミリーサポートセンター事業の実施 子育てヘルプサービス事業の実施 子育て世帯訪問支援事業の実施 養育支援訪問事業の実施 産後ケア事業の実施 ブックスタート事業の実施 子育て短期支援事業の実施 子育て世代包括支援センター事業の実施 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 保育園改修工事検討 子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) 各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) 民間保育園の運営に対する補助 民間保育園新設に対する施設整備補助 	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当の支給及び医療費の助成 地域子育て支援拠点事業の実施 ファミリーサポートセンター事業の実施 子育てヘルプサービス事業の実施 子育て世帯訪問支援事業の実施 養育支援訪問事業の実施 産後ケア事業の実施 ブックスタート事業の実施 子育て短期支援事業の実施 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合したこども家庭センターにおける育児相談の実施 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 保育園改修工事検討 子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) 各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) 民間保育園の運営に対する補助 民間保育園新設に対する施設整備補助
事業費	8,210,885千円	8,140,980千円	8,140,980千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ブックスタート事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てヘルプサービス事業、養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業、利用者支援事業に要する経費、子育て短期支援事業に要する経費
	3-3-2	児童措置費	児童手当給付事業
	3-3-4	保育所費	保育園運営に要する経費、保育園施設改修事業、民間保育園の保育委託に関する経費、民間保育園等運営費支援事業、民間保育園施設整備事業
	3-3-5	児童福祉施設費	つどいの広場事業、小林子育て支援センターに要する経費、中央駅前地域交流館子育て支援事業活動に要する経費、滝野子育て支援センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	子ども医療費助成事業、未熟児養育医療事業、高校生等医療費助成事業、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	子どもの医療に要する費用の全部又は一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担を軽減することができた。	当初予算	8,210,885,000円
	ファミリーサポートセンター事業については、育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人による会員組織への登録を行い、会員同士が相互援助活動を実施することで、子どもの預かりや送迎など地域への子育て支援の推進を図ることができた。	予算現額	8,620,973,973円
	子育てヘルプサービス事業、養育支援訪問事業、産後ケア事業及び子育て短期支援事業を実施し、安心して子育てができるよう、必要な支援を行うことができた。	決算額	8,036,936,086円
	施設の長寿命化を図るため、内野保育園の大規模改修工事を実施した。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

※高校生等医療費助成制度は令和5年8月より子ども医療費助成制度に統合しました。

指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子ども医療費・高校生等医療費助成制度の周知(広報への掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	3	3	3		
地域子育て支援拠点事業実施箇所	箇所	目標値	24	24	25	25	25
		実績値	24	25	23		
ファミリーサポートセンターの提供会員	人	目標値	110	110	110	110	110
		実績値	91	94	96		
育児相談実施箇所	箇所	目標値	11	11	11	11	11
		実績値	11	11	11		
改修工事の実施数	園	目標値	—	1	1	—	1
		実績値	—	1	1		
子ども医療費及び高校生等医療費助成件数	件	目標値	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000
		実績値	242,747	268,843	342,540		
地域子育て支援拠点事業利用者数	人	目標値	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
		実績値	49,892	69,523	69,906		
ファミリーサポートセンター事業の利用時間	時間	目標値	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
		実績値	2,919	2,937	2,442		
育児相談利用者数	人	目標値	320	320	320	320	320
		実績値	317	256	323		
4月1日現在保育園在園児童	人	目標値	2,700	2,800	3,200	3,200	3,200
		実績値	2,748	3,057	3,334		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地域子育て支援拠点事業利用者数について、感染防止対策のため時間帯の予約及び人数を制限したことにより、利用件数が伸びなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	ファミリーサポートセンターの提供会員及び地域子育て支援拠点事業の利用者の拡大を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	25
実施計画事業名	子どもたちの学び力を育む		担当部署名	指導課
事業の実施目的及び概要	3つを柱とした子どもたちの資質・能力(①生きて働く知識及び技能、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など)を育成するため、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	学び力を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) 各校で行われる授業研究会への指導主事等派遣(随時) 教職員研修及び指導法等研修の実施 研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 学校図書館の環境整備と機能の充実 イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) 特別支援教育研修会の実施 早期就学相談の実施(希望者) 小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) 印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) 各校で行われる授業研究会への指導主事等派遣(随時) 教職員研修及び指導法等研修の実施 研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 学校図書館の環境整備と機能の充実 イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) 特別支援教育研修会の実施 早期就学相談の実施(希望者) 小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) 印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) 各校で行われる授業研究会への指導主事等派遣(随時) 教職員研修及び指導法等研修の実施 研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 学校図書館の環境整備と機能の充実 イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) 特別支援教育研修会の実施 早期就学相談の実施(希望者) 小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) 印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援
事業費	307,469千円	240,574千円	240,574千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	特別支援教育事業
	9-1-3	教育研究指導費	進路対策事業
	9-1-3	教育研究指導費	国際理解教育推進事業
	9-1-4	教育センター費	教育に関する調査・研究・開発事業
	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-1-4	教育センター費	教職員研修事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	職場体験事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・「漢字級別認定テスト」「計算力認定テスト」については各3回実施した。のべ数で目標値を大きく上回る受検者があった。	当初予算	307,469,000円
	・各校で行われる授業研究会等に指導主事等を261回派遣し、授業の工夫・改善に向けた指導助言を行った。	予算現額	315,044,000円
	・特色ある教育活動について、教科等の指導におけるICT活用・情報教育の指定を全小中学校、外国語教育の推進の指定を小学校3校に、環境教育(SDGs)の推進の指定を小学校1校にし、指導主事が指導・助言を行った。	決算額	283,407,530円
	・夏季研修会については、現場のニーズや教育課題に応じた19講座を開催した。参加した教職員にとって満足度の高い研修を実施した。学校図書館システムによる、検収、検索、貸出、返却、各種統計処理等を円滑に進めたことで、学校図書館の機能の充実を図った。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	漢字級別認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	計算力認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	夏季研修会に参加した教職員の満足度割合	%	目標値	90	90	91	91	92
			実績値	95	95	99		
イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1	
		実績値	中止	代替実施	1			
就学相談を実施することが望ましいと見込まれる対象児童の割合 *2	%	目標値	5.5~6.5	5.5~6.5	5.5~6.5	5.5~6.5	5.5~6.5	
		実績値	8	7	7			
成果指標	漢字級別認定テストの受検者数	人	目標値	11,000	11,110	11,221	11,333	11,447
			実績値	12,970	12,810	12,605		
	計算力認定テストの受検者数	人	目標値	10,000	10,100	10,201	10,303	10,406
			実績値	12,304	12,940	12,719		
	学校評価(授業力向上)における児童生徒の肯定的回答率	%	目標値	88	88	88	89	90
			実績値	91	90	93		
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の事後追跡調査結果 *1	%	目標値	80	—	—	—	80
			実績値	90	R2年度中止	R3年度中止	R4年度中止	
	上記の見込対象児童に対する就学相談の実施率 *2	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		

*1 イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)を実施した2年後に行う追跡調査において、「研修経験が高校進学や将来の職業観など、進路選択に生かした」と回答した参加生徒の割合
*2 ここでは就学前児童及び就学前相談を対象としている。

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ目標値どおりである	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実施できたものの多くで目標値を上回る実績値となっている。今後も事業内容を改善しながら継続し、児童生徒の学び力の育成や教職員の指導力向上に努めていきたい。

令和5年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	26
1. 事業の概要			
実施計画事業名	子どもたちの豊かな心を育む	担当部署名	指導課
事業の実施目的及び概要	子どもたちの豊かな心や創造性を涵養するため、道徳科を要とした体系的・系統的な道徳教育を推進するとともに、体験活動や多様な表現、鑑賞活動等の充実を図ります。		
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画
取組方針	豊かな心を育む		
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育授業実践研修会の実施(3回) 人権教育研修の実施(随時) さわやかハートフルコンサートの開催(1回) 小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) 親子での自然科学体験学習の開催(5回) 適応指導教室の充実 面接相談・電話相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育授業実践研修会の実施(3回) 人権教育研修の実施(随時) さわやかハートフルコンサートの開催(1回) 小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) 親子での自然科学体験学習の開催(5回) 適応指導教室の充実 面接相談・電話相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育授業実践研修会の実施(3回) 人権教育研修の実施(随時) さわやかハートフルコンサートの開催(1回) 小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) 親子での自然科学体験学習の開催(5回) 適応指導教室の充実 面接相談・電話相談の充実
事業費	24,641千円	24,641千円	24,641千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	小中学校芸術文化体験事業
	9-1-4	教育センター費	自然科学体験学習事業
	9-1-4	教育センター費	教育相談事業
	9-1-4	教育センター費	適応指導教室事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・道徳教育実践研修会については、教育センターでの理論研修を受け、各学校での授業実践をし、最後にまとめの活動を行うという形式で、各学校1名参加し、道徳教育の核となる教員の育成と資質向上を図った。	当初予算	24,641,000円
	・各学校で実施した教職員対象の学校評価アンケート結果から、心の教育の充実の設問に対して好意的回答をした割合が90%を超えた。	予算現額	25,417,000円
	・学校での人権教育研修において、事例を踏まえて今日的な子どもの人権問題を中心に理解を深めた。	決算額	19,051,582円
	・さわやかハートフルコンサートは、コロナ禍前の実施形態に戻して実施し全小中学校が参加した。音楽活動を通して児童生徒の学びあいや豊かな情操を養った。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道徳教育授業実践研修会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	さわやかハートフルコンサートの開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	小学校芸術鑑賞教室の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
自然科学体験教室の開催回数	回	目標値	5	5	5	5	5	
		実績値	3	3	2			
適応指導教室の開室日数	日	目標値	195	195	195	195	195	
		実績値	193	194	190			
成果指標	学校評価(道徳・心の教育の充実)における教職員の肯定的回答率 *1	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	99	95	97		
	市内全児童生徒に対するさわやかハートフルコンサート参加児童生徒数の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	20	20	21		
	小学校芸術鑑賞教室の参加児童数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,131	1,180	1,206		
事後アンケートにおける自然科学体験教室参加者の肯定的回答率 *2	%	目標値	90	90	90	90	90	
		実績値	100	100	100			
適応指導教室に通室する児童生徒の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100			

*1 学校評価「あなたは豊かな人間性を育む心の教育の充実に向けているか」の問いに対し、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した教職員の割合
*2 事後アンケート「今後も体験学習会に参加してみたいか」の問いに対し、「とても思う」「思う」と回答した参加者の割合

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実施できたもののほとんどが目標値程度か上回る実績値となっている。今後も事業内容を改善しながら継続し、児童生徒の豊かな心や創造性の育成に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	27
1. 事業の概要				
実施計画事業名	子どもたちの健やかな体を育む		担当部署名	指導課 学校給食課
事業の実施目的及び概要	子どもたちの運動に親しむ資質・能力の育成や体力の向上を図るため、学校体育の充実や部活動の支援に努めるとともに、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、学校給食を活用した食に関する指導の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 学校給食法 第2期印西市教育振興基本計画 学校保健安全法	
取組方針	健やかな体を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校駅伝競走大会の開催(1回) 部活動サポート事業による指導者派遣 健康診断の実施 小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) 学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) 栄養教室の実施(全小学校) 家庭・地域と連携した食育の推進 給食献立の工夫と改善 (仮称)新高花学校給食センター建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校駅伝競走大会の開催(1回) 部活動サポート事業による指導者派遣 健康診断の実施 小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) 学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) 栄養教室の実施(全小学校) 家庭・地域と連携した食育の推進 給食献立の工夫と改善 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校駅伝競走大会の開催(1回) 部活動サポート事業による指導者派遣 健康診断の実施 小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) 学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) 栄養教室の実施(全小学校) 家庭・地域と連携した食育の推進 給食献立の工夫と改善
事業費	4,145,466千円	1,846,549千円	1,846,549千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	部活動推進事業
	9-1-3	教育研究指導費	小学校駅伝競走大会
	9-6-1	保健体育総務費	学校保健事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食事務費
	9-6-3	学校給食費	中央学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	牧の原学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	印旛学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食センター整備事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	小学校駅伝競走大会は、応援児童の参加は無しにするなど多少の縮小は行ったが、例年に近い形で実施した。	当初予算	4,145,466,000円
	市内全中学校に部活動サポーター21名を、陸上・ソフトテニス・卓球・バレーボール・サッカー・剣道・吹奏楽・野球の部活動に配置した。学校の部活動と地域スポーツ、地域文化活動をつなぐ架け橋となった。	予算現額	4,185,845,000円
	児童生徒の定期健康診断、小児生活習慣病予防検診及び事後指導は、感染対策を講じながら通常どおり実施した。	決算額	4,028,128,586円
	小児生活習慣病検診には、およそ3000人の児童生徒が受検し、その後の事後指導を受け、自己の生活習慣を振り返り、今後の生活の仕方について目標をもつことができた。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	小学校駅伝競走大会の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1			
	小学校における歯科健診の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校			
	中学1年生における小児生活習慣病予防検診及び事後指導の実施校数	校	目標値	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	
			実績値	全中学校	全中学校	全中学校			
小学校における栄養教室の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校		
		実績値	全小学校	全小学校	全小学校				
成果指標	大会に向けた課外活動に参加する児童数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
			実績値	1,214	1,114	1,245			
	健歯またはむし歯を治癒した児童の割合	%	目標値	85	85	85	85	85	
			実績値	88	88	89			
	中学3年生時における肥満度有所見者の割合	%	目標値	9	9	9	9	9	
			実績値	11	10	12			
	小学生の朝食の欠食率	%	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1			
				目標値					
				実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	児童生徒の発達段階をふまえ工夫して実施することで、目標値程度の実績を収めている。今後も事業内容を工夫しながら継続し、児童生徒の健やかな体の育成に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号 28

1. 事業の概要

実施計画事業名	教育環境整備の充実		担当部署名	学務課 教育総務課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境が充実したまちを目指します。児童・生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設や教育環境を継続的に整えます。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育大綱 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針 印西市学校施設長寿命化計画	
取組方針	教育環境整備の充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修や学級増に対応した増築 児童生徒の就学に対する支援(就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) 学校現場における適切な人材確保及び人員配置 小中学校が実施する修学旅行費の一部補助 印西市立小中学校への通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対し、定期乗車券分の全額補助 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修や学級増に対応した増築 児童生徒の就学に対する支援(就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) 学校現場における適切な人材確保及び人員配置 小中学校が実施する修学旅行費の一部補助 印西市立小中学校への通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対し、定期乗車券分の全額補助 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修や学級増に対応した増築 児童生徒の就学に対する支援(就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) 学校現場における適切な人材確保及び人員配置 小中学校が実施する修学旅行費の一部補助 印西市立小中学校への通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対し、定期乗車券分の全額補助
事業費	1,196,424千円	1,097,220千円	1,257,920千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-2	事務局費	通学支援に要する経費
	9-1-3	教育研究指導費	きめ細かな教育の充実事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設整備改修事業
	9-2-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-2-2	教育振興費	就学援助事業
	9-2-2	教育振興費	小学校修学旅行費補助事業
	9-3-1	学校管理費	中学校施設整備改修事業
	9-3-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-3-2	教育振興費	就学援助事業
	9-3-2	教育振興費	中学校修学旅行費補助事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・高花小学校校舎改修工事、原小学校体育館改修工事、大森小学校設計 ・牧の原小学校校舎増築 ・特別教室エアコン設置の教室(高花小学校3室) ・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給:387件、特別支援教育就学奨励費の支給:270件) ・学校現場における適切な人材確保及び人員配置 (学習指導員:52人、介助員:42人、日本語指導員:8人) ・小中学校が実施する修学旅行費の一部補助実績数 小学校18校、中学校9校 ・印西市立小中学校へ通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対する補助実績数 33件	当初予算	1,196,424,000円
		予算現額	1,224,221,800円
		決算額	1,125,074,324円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	大規模改修及び設計実施数	件	目標値	2	3	3	3	3	
			実績値	2	4	3			
	増築事業の実施件数	件	目標値	2	2	1	—	—	
			実績値	2	2	1			
	小中学校特別教室エアコン設置の教室数	室	目標値	—	2	3	3	3	
			実績値	—	7	3			
特別支援教育支援員の配置人数	人	目標値	44	47	50	53	56		
		実績値	40	41	42				
成果指標	改修実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	133	100			
	増築事業の進捗率	%	目標値	100	100	100	—	—	
			実績値	100	100	100			
	特別教室エアコン設置率	%	目標値	—	100	100	100	100	
			実績値	—	350	100			
	特別支援教育支援員の配置率	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	90	87	84			
				目標値					
				実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校施設の改修や学級増に対応した増築工事については、計画どおり実施した。また、就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について適切に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	印西市学校施設長寿命化計画に則り、計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。また、引き続き、児童・生徒の急増に対応するため校舎増築等の必要がある。就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について継続的に実施する必要がある。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号 29

1. 事業の概要

実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進		担当部署名	学務課
事業の実施目的及び概要	学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校の適正規模・適正配置を推進します。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(文部科学省) 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針	
取組方針	学校の適正規模・適正配置の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・適正配置の推進 学校適正配置審議会の開催 保護者説明会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・適正配置の推進 学校適正配置審議会の開催 保護者説明会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・適正配置の推進 学校適正配置審議会の開催 保護者説明会等の実施
事業費	3,183千円	151千円	151千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	学校適正配置に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・学校適正配置審議会の開催(4回)	当初予算	3,183,000円
	・住民説明会等の実施	予算現額	3,183,000円
	①原小学校校舎増築に伴う対応の経過報告等の説明会(1回) ②通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会の開催(7回)	決算額	2,125,121円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市学校適正配置審議会の開催回数	回	目標値	2	4	5	2	2
			実績値	6	8	4		
	保護者説明会等の開催	回	目標値	実施	実施	実施	実施	実施
			実績値	4	14	8		
			目標値					
			実績値					
成果指標	学校適正配置の推進		目標値	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠であるため、目標指標は設定しない。				
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校適正配置審議会において、答申をいただいた第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針について、策定完了に向けてご意見をいただいた。原小学校校舎増築に伴う対応の経過報告を行った。また、通学区域制度の弾力的運用に関し、就学先の高花小学校・いには野小学校・本埜小学校・船穂小学校の見学会を行った。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠なため、目標は設定しない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	小規模特認校制度の検証を行う。 大規模校については分離新設について検討を行う。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	策定完了した第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、進捗管理を行う。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	30
1. 事業の概要				
実施計画事業名	情報化社会に対応した教育の推進	担当部署名	学務課 指導課	
事業の実施目的 及び概要	国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、情報化社会に対応した教育を実施するため、無線LANやパソコンなどのICT環境の整備を推進します。 また、研修等を通じた教員のICT活用指導力の向上や情報モラル教育等、ハード・ソフトの両面から情報教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画 印西市DX推進方針	
取組方針	情報化社会に対応した教育の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)				単位:千円
	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・校内の無線LAN工事 ・校務用パソコン入替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 	
事業費	977,468千円	228,745千円	228,745千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-1	学校管理費	小学校管理運営に要する経費
	9-2-2	教育振興費	小学校ICT環境整備事業
	9-3-1	学校管理費	中学校管理運営に要する経費
	9-3-2	教育振興費	中学校ICT環境整備事業

3. 事業実績等		単位:円	
令和5年度の 事業実績・成果	令和6年度の児童生徒増分として701台のパソコンを購入した。また、小中学校教室等へのLAN配線、無線アクセスポイント設置を行い、ICT環境の整備を推進した。 教科等の指導におけるICT活用や校務の情報化推進のための研修を行った。教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修などを開催し、26校の教員60名がプログラミング講座を受講した。	当初予算	977,468,000円
		予算現額	925,665,000円
		決算額	732,479,220円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値								
指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	教育用パソコン整備台数	台	目標値	355	467	645	425	232
		実績値	770	332	701			
	ICT教員研修回数	回	目標値	9	9	9	9	9
		実績値	22	20	19			
			目標値					
			実績値					
成果指標	教育用パソコン整備率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100			
	ICT教員研修参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	96			
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	教科等の指導におけるICT活用や校務の情報化推進に向けた研修を積極的に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修などを開催し、26校の教員が受講した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	1人1台の児童生徒用パソコンを整備し、また、教員の研修等を実施し、授業におけるICT活用が図られ、子どもたちの情報教育の推進につながった。

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	情報教育の推進のため、引き続き、児童生徒増分のパソコン等の整備及びICT活用研修を実施する必要がある。 また、児童生徒用タブレットの更新時期を迎えることから、調達準備を進める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	31
実施計画事業名	信頼される学校づくり		担当部署名	指導課
事業の実施目的及び概要	生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うため、安全に関する資質・能力を育てます。 また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、家庭や地域に対してホームページや学校だより等を活用して、積極的に学校の状況を情報発信し、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	信頼される学校づくり			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施(全小中学校) 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) 防犯ブザーの貸与 自転車通学用ヘルメットの貸与 メール配信システムの活用(全小中学校) 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 地域ボランティアの活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施(全小中学校) 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) 防犯ブザーの貸与 自転車通学用ヘルメットの貸与 メール配信システムの活用(全小中学校) 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 地域ボランティアの活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施(全小中学校) 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) 防犯ブザーの貸与 自転車通学用ヘルメットの貸与 メール配信システムの活用(全小中学校) 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 地域ボランティアの活動支援
事業費	221,326千円	154,431千円	154,431千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-6-1	保健体育総務費	学校安全事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	交通安全教室は、感染対策を講じながら全校(小中学校27校)において実施することができた。	当初予算	221,326,000円
	防犯教室は、感染対策を講じながら全園全校(公立幼稚園2校と小中学校27校)において実施することができた。	予算現額	226,669,000円
	防犯ブザーについては、対象となる児童全員(1492名)に貸与した。	決算額	201,076,565円
	自転車通学用ヘルメットは、対象となる生徒全員(325名)に貸与した。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施校数	校	目標値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
			実績値	全小中学校	全小中学校	全小中学校		
	対象者への自転車通学用ヘルメットの貸与率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
メール配信システムの活用	回	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	
		実績値	3,506	5,390	5,244			
印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	
		実績値	全小学校	全小学校	全小学校			
学校HPの更新		目標値	随時	随時	随時	随時	随時	
		実績値	随時	随時	随時			
成果指標	重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
	自転車通学時における重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
メール配信システムへの登録率(家庭数)	%	目標値	95	95	95	96	96	
		実績値	100	99	98			
通学路の改善対応箇所(公表値)	箇所	目標値	7	7	20	20	20	
		実績値	68	63	89			
学校HPへの年間アクセス総数	件	目標値	360万	360万	600万	600万	600万	
		実績値	1,010万	1,250万	1,560万			

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も事業を継続し、児童生徒の安全を確保に努めるとともに、家庭や地域への積極的な情報発信をしていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	32
1. 事業の概要				
実施計画事業名	文化・芸術活動の推進		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	市民により豊かな心を育み生活に潤いをもたらしていただくことを目的とし、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を目標とします。文化・芸術振興のための施設整備や改修を計画的に行い、発表の場を確保するとともに、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	社会教育法、文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン	
取組方針	文化・芸術活動の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭の開催 芸術文化活動への共催・後援 芸術文化振興団体との連携、運営支援 印西まちなか音楽祭の実施 文化芸術に触れる機会の提供 市民の自主的な文化・芸術活動の支援 文化ホール指定管理者による管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭の開催 芸術文化活動への共催・後援 芸術文化振興団体との連携、運営支援 印西まちなか音楽祭の実施 文化芸術に触れる機会の提供 市民の自主的な文化・芸術活動の支援 文化ホール指定管理者による管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭の開催 芸術文化活動への共催・後援 芸術文化振興団体との連携、運営支援 印西まちなか音楽祭の実施 文化芸術に触れる機会の提供 市民の自主的な文化・芸術活動の支援 文化ホール指定管理者による管理運営
事業費	141,397千円	141,397千円	141,397千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-3	文化振興費	文化振興活動に要する経費
	9-5-6	文化ホール費	文化ホール運営事務に要する経費

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・第28回印西市民文化祭及びオンライン文化祭を実施した。 ・芸術文化活動への共催・後援事業等支援を行った。 ・芸術文化振興に関する各種団体との連携及び自立した運営のための助言を行った。 ・第2回目となる「印西まちなか音楽祭」を実行委員会と共催で実施し、約21,500人の方々が来場した。 ・令和5年度より、文化ホールの管理運営は指定管理者となったことからモニタリングを行った。 ・文化ホール主催事業(自主文化事業)として、全25事業(鑑賞型12事業・育成7事業・普及育成2事業・創出4事業)を実施した。	当初予算	141,397,000円
		予算現額	140,340,000円
		決算額	138,496,765円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民文化祭への参加・出品募集の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4	4	4		
	市民文化祭開催の周知	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
	芸術文化活動への共催・後援の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
文化ホール主催事業の広報・HP掲載	回	目標値	16	16	16	16	16	
		実績値	22	32	47			
文化ホール機関情報紙の発行	回	目標値	12	12	12	12	12	
		実績値	12	12	16			
成果指標	市民文化祭への参加・出品数	点	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	308	310	322		
	市民文化祭来場者数	人	目標値	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400
			実績値	3,652	4,722	5,997		
	芸術文化活動への共催・後援数	件	目標値	5	10	15	20	25
			実績値	21	32	37		
	文化ホール利用率(大森図書館除く)	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	43	59	54		
	チケット売上率(有料公演有効チケット枚数に対する売上枚数)	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	86	75	72		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市民に対し周知等を積極的に行い、目標値を上回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値を概ね上回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	継続し取り組んでいく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民文化祭、印西まちなか音楽祭及び文化ホール事業を実施し、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を継続し進めていく。文化・芸術の発信拠点である、文化ホールの役割を果たすべく、事業を継続していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	33
1. 事業の概要				
実施計画事業名	文化財の保護・活用の推進		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	地域に対する愛着心を醸成することを目的とし、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護や保存及び活用を進めます。先人の残した文化遺産である本市の歴史や文化財の価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、資料に触れる環境整備に努めます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	博物館法、文化財保護法、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例、印西市文化財保護条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン	
取組方針	文化財の保護・活用の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 石造物調査の実施(印旛地区) 仏像調査報告書(印旛地区)の調書整理 社寺建造物基礎調査の検討 市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 市内史跡維持管理事業 有形・無形文化財保護に対する補助 貝化石分類事業の実施 民俗資料活用事業の実施 歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 歴史民俗資料館研究紀要刊行 収蔵資料データベース化の検討 木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討 歴史文化施設基本計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> 道作1号墳調査報告書の刊行 石造物調査の実施(印旛地区) 仏像調査報告書(印旛地区)の調書整理 社寺建造物基礎調査の検討 市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 市内史跡維持管理事業 有形・無形文化財保護に対する補助 貝化石分類事業の実施 民俗資料活用事業の実施 歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 歴史民俗資料館研究紀要刊行 収蔵資料データベース化の準備 木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討 歴史文化施設の基本設計 	<ul style="list-style-type: none"> 石造物調査の実施(印旛地区) 仏像調査報告書(印旛地区)の刊行準備 社寺建造物基礎調査の検討 市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 市内史跡維持管理事業 有形・無形文化財保護に対する補助 貝化石分類事業の実施 民俗資料活用事業の実施 歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 歴史民俗資料館研究紀要刊行 収蔵資料データベース化の準備 木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討
事業費	37,514千円	104,597千円	156,616千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	9-5-3	文化振興費	文化財審議会運営に要する経費
	9-5-3	文化振興費	文化財保護調査事業
	9-5-3	文化振興費	資料整理保管に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史民俗資料館運営委員会に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館事業活動費
	9-5-7	資料館費	資料館運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・石造物調査(印旛地区) ・仏像調査報告書(印旛地区)の調書整理の実施 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業の実施 ・有形(10件)、無形(4件)文化財保護に対する補助 ・貝化石分類作業の実施 ・文化財等活用事業(道作古墳説明会2回、貝化石採取会1回)の実施 ・(仮称)印西市歴史文化施設基本計画の策定 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ①展示事業 常設展示を実施 ②資料の収集・整理保管事業 寄贈で224点を受け入れ、そのほかに収蔵資料の整理、資料くん蒸を実施 ③調査研究事業 石造物調査、市内出土土輪調査、個人宅資料調査、民俗行事取材の実施 ④普及事業 体験講座4講座、資料館講座1講座を実施し、94人の参加があった。 ・歴史民俗資料館研究紀要第6号刊行(400部) ・収蔵資料データベース化に向けて資料整理を実施した。 ・集約化の検討に伴い、収蔵資料数量を確認した。	当初予算	37,514,000円
	予算現額	38,166,000円	
	決算額	30,614,639円	
	翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	調査報告書・パンフレットの刊行	部	目標値	600	600	600	3,300	600	
			実績値	5,300	2,800	300			
	調査報告書・パンフレット刊行の周知	回	目標値	3	3	3	3	3	
			実績値	2	3	1			
	文化財等活用事業の周知	回	目標値	6	6	6	6	6	
			実績値	5	4	7			
歴史民俗資料館運営事業における利用資料数	点	目標値	300	300	300	300	300		
		実績値	486	703	668				
歴史民俗資料館企画展・講座、調査等実施回数	回	目標値	5	5	5	5	5		
		実績値	7	24	29				
成果指標	調査報告書・パンフレットの販売・配布数	冊	目標値	300	350	350	400	350	
			実績値	1,300	1,400	1,400			
	文化財等活用事業参加者数	人	目標値	50	60	70	80	90	
			実績値	140	80	135			
	歴史民俗資料館収集資料数	点	目標値	65,000	65,020	65,520	65,530	65,540	
			実績値	65,503	65,509	65,733			
	歴史民俗資料館入館者数	人	目標値	900	900	900	900	900	
			実績値	842	751	794			
				目標値					
				実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市内文化財の調査・保護・活用を進めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	34
1. 事業の概要				
実施計画事業名	市史編さん事業や地域史料の保存		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	市民の活動を記録した地域資料を次世代に引き継ぎ、郷土の歴史・文化への関心・理解・愛郷心の高揚を育むため、歴史的公文書の移管並びに歴史資料や古文書を収集し、整理・調査研究・保存に努めるとともに、その活用を図ります。 また、市史編さん事業の実施により、市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を順次刊行し、市民共有の財産として後世に継承します。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市史編さん事業基本方針、博物館法、文書管理法、公文書館法、国立公文書館法、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	市史編さん事業や地域史料の保存			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 市史(通史編(近現代)・市史研究誌刊行)、各専門部会の資料収集・調査、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ・資料館との集約化に伴う検討等	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 近世資料編編集、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ・資料館との集約化に伴う検討等	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 近世資料編編集、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ・資料館との集約化に伴う検討等
事業費	21,717千円	17,500千円	17,500千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-7	資料館費	市史刊行事業
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター事業活動費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター運営事務に要する経費
	9-5-7	資料館費	市史編さん委員会運営に要する経費

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・古文書等の収集・整理保管を実施した。 令和6年3月現在総数 寄託49件約34,000点、寄贈130件約3,300点、移管1件10点、購入4件415点、収集地域情報紙253点、広告986点、新聞7,844点 ・歴史公文書の収集・整理保管を実施した。 令和5年度収集文書保存箱64箱、行政資料292件 ・市史(通史編(近現代))を刊行した。(500部) ・各専門部会の資料収集・調査を実施した。近現代部会:山田・圓天寺古文書調査、近世部会:市保管古文書調査、中世部会:龍腹寺・龍腹寺境内出土石板調査 ・市史刊行物頒布を実施した。(販売数185冊) ・令和4年度受け入れ資料等のくん蒸及び収蔵・展示環境調査を実施した。 ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営を実施した。 ・資料館との集約化については、(仮称)印西市歴史文化施設基本計画策定の中で検討した。	当初予算	21,717,000円
	予算現額	21,615,000円	
	決算額	15,136,825円	
	翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	市史編さん委員会の開催	回	目標値	2	2	3	3	3	
			実績値	2	2	3			
	専門部会の開催(原始・古代)	回	目標値	—	—	—	—	2	
			実績値	—	—	—			
	専門部会の開催(中世)	回	目標値	2	4	4	4	4	
			実績値	2	1	2			
専門部会の開催(近世)	回	目標値	3	3	4	4	4		
		実績値	0	1	2				
専門部会の開催(近・現代)	回	目標値	3	6	3	—	—		
		実績値	4	3	4				
成果指標	市史刊行物等の頒布	部	目標値	58	59	61	62	62	
			実績値	59	60	63			
	市史編さん講演会等の参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60	
			実績値	35	70	0			
	木下交流の杜歴史資料センターの来所者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
			実績値	2,833	3,174	3,495			
				目標値					
				実績値					
			目標値						
			実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値を上回った指標があった一方、目標値に満たない指標があった。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値を上回った指標があった一方、目標値に満たない指標及び実施できなかった指標があった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標値を上回る指標があった一方、目標値に満たない指標、実施できなかった指標があった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	目標値に満たなかった指標、実施できなかった指標について目標値を達成できるよう努める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号 35

1. 事業の概要

実施計画事業名	多様な学習機会の提供		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	市民の関心や参加意欲の向上を目指し、市民アカデミーや出前講座で市民の学習に対するニーズや年齢層に合わせた多様な学習機会を提供するとともに、様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努め、生涯学習ガイドやホームページによる情報提供の充実を図ります。また、大学や企業などとの連携・協力した事業を展開し、市民の学習機会の拡充を図ります。			
関連施策	【2-5】 生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	多様な学習機会の提供			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドの発行 ホームページによる情報提供 生涯学習講師、指導者情報の充実 印西市民アカデミーの実施 出前講座の実施 高等教育機関等との連携した事業の実施 社会教育関係団体の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドの発行 ホームページによる情報提供 生涯学習講師、指導者情報の充実 印西市民アカデミーの実施 出前講座の実施 高等教育機関等との連携した事業の実施 社会教育関係団体の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドの発行 ホームページによる情報提供 生涯学習講師、指導者情報の充実 印西市民アカデミーの実施 出前講座の実施 高等教育機関等との連携した事業の実施 社会教育関係団体の支援
事業費	646千円	646千円	646千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-1	社会教育総務費	生涯学習推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	生涯学習ガイドを300部発行し、市内各施設(支所・公民館・保育園・幼稚園・小中学校・コミュニティセンター等)に配置するとともにホームページにも掲載した。また、講師、指導者が公開しているホームページ情報なども追加し、内容の充実を図った。	当初予算	646,000円
	・出前講座は回覧・広報等により、周知に努め昨年度より申込数は増加したものの、利用者は減少した。	予算現額	646,000円
	・市民アカデミーは学習プログラムの見直し、新型コロナウイルスの影響により、一部プログラムを変更したが、1年生12人・年間24回、2年生12人・年間7回実施することができた。	決算額	568,264円
	・順天堂大学生涯学習公開講座で4講座を実施し、21組55名が参加した。また、市民アカデミーでもオープンキャンパスに12人が参加した。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	生涯学習ガイドの広報での周知回数	回	目標値	—	—	2	2	2
			実績値	—	—	2		
	出前講座講座数	件	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	64	63	60		
	市民アカデミー開催数	回	目標値	76	76	76	76	76
			実績値	25	30	31		
高等教育機関等との連携した講座数	件	目標値	4	5	5	6	6	
		実績値	4	5	5			
成果指標	出前講座利用申込数	件	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	31	53	57		
	出前講座利用人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	419	928	848		
	市民アカデミー参加人数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	46	26	24		
	生涯学習ガイドのホームページアクセス数	件	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	1,262	2,088	2,506		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市民アカデミーは学習プログラムの見直しを図ったため回数における目標値と実績値では乖離が生じたものの、安定したプログラムで実施できた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	出前講座の利用人数は回復傾向にあるものの、参加者は前年と比較すると減少し、利用年層も偏りが出てしまった。内容のブラッシュアップを図り、幅広い年齢層から利用してもらえる事業としたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	全体的には目標値を下回る結果となったが、回復傾向は見受けられるため、改善に向けた方策を研究していきたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民アカデミーは生涯学習の起点でもあるリカレント教育の場であり、欠かす事の出来ない事業である。また、出前講座や生涯学習ガイドは、自分や仲間内で学びの機会のきっかけとなるため、今後も内容の充実に対して検討を進めていきたい。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	36
1. 事業の概要				
実施計画事業名	図書館サービスの充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進し、また、地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設となるよう、従来の来館型サービスの他、電子書籍の導入など非来館型サービスの充実を図り、図書館の利用を促進します。 また、利用しやすい環境整備に努めるため、施設整備のあり方などについて調査・研究します。 さらに、読書活動を深める機会の提供や読書環境の整備・充実に努め、子どもの読書活動を推進します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	図書館法、印西市立図書館設置条例及び同条例施行規則、第2期印西市教育振興基本計画、印西市子ども読書活動推進計画(第四次)、印西市公共施設等総合管理計画、印西市DX推進方針	
取組方針	図書館サービスの充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集・管理及び提供 ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 子どもの読書活動推進 小林図書館保全改修工事 小倉台図書館保全改修工事基本設計・実施設計 ふれあいセンターいんば大規模改修工事設計(印旛図書館) 図書館サービスに関する方針・計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集・管理及び提供 ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 子どもの読書活動推進 小倉台図書館保全改修工事基本設計・実施設計 ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館) (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書の出窓の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集・管理及び提供 ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 子どもの読書活動推進 小倉台図書館保全改修工事 ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館) (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書の出窓の準備
事業費	134,991千円	147,661千円	631,679千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-5	図書館費	図書館協議会運営に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館運営事務に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館施設管理に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書資料の整備に要する経費
	9-5-5	図書館費	小倉台図書館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	資料の収集・管理及び提供を行った。 電子書籍を新たに278タイトル提供し、非来館型サービスの充実を図った。 子ども読書活動推進計画(第四次)に基づき児童書の収集や児童向けの事業等の実施。 ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上を図った。 小林コミュニティプラザの保全改修工事を令和4年10月1日から令和5年9月30日まで実施し、小林図書館は10月1日より再開館した。 小倉台図書館保全改修工事の基本設計・実施設計を行った。 施設の改修工事設計に伴い、印旛図書館・本笠図書館の改修工事内容を検討した。 図書館の運営のあり方について、図書館協議会から答申をいただき、「印西市立図書館の運営基本方針」及び「印西市立図書館サービス計画」を定めた。 民話絵本の作成のため、印西市民話絵本作成活用検討会を開き、内容等について検討した。	当初予算	134,991,000円
	予算現額	131,791,000円	
	決算額	120,878,129円	
	翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	図書資料受入点数	点	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
			実績値	10,406	10,033	11,496			
	内児童資料受入点数	点	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
			実績値	2,075	1,976	2,664			
	資料予約件数	件	目標値	127,000	127,100	127,200	127,300	127,400	
			実績値	142,754	142,449	156,685			
電子書籍受入点数	点	目標値	300	350	400	450	500		
		実績値	350	295	278				
成果指標	個人貸出点数	点	目標値	820,000	820,500	821,000	821,500	822,000	
			実績値	839,613	814,954	845,338			
	内児童資料貸出点数	点	目標値	320,000	320,200	320,400	320,600	320,800	
			実績値	349,754	346,295	360,201			
	レファレンス件数 ※レファレンス-調べものを支援するサービス	件	目標値	25,000	25,100	25,200	25,300	25,400	
			実績値	17,970	18,873	19,766			
	電子書籍貸出点数	点	目標値	1,000	1,150	1,200	1,350	1,500	
			実績値	1,395	988	1,610			
				目標値					
				実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も図書館サービスの充実として継続して実施する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号 37

1. 事業の概要

実施計画事業名	生涯学習施設の整備・充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	子どもから高齢者まで市民一人ひとりの多様な学習活動の実践や参画を側面から支援し、自己実現につながる生涯を通じて学習できるまちづくりを推進していきます。 そのためには、多様化する市民ニーズに対応した学習機会を提供するため、各公民館等では年齢層等に対応した事業や地域の特性を生かした事業を展開するとともに、学習の場を提供するため、だれもが安全で安心して快適に施設を使用するため、適正な施設機能の確保に努めていくこととします。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例及び規則 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 第2期印西市教育振興基本計画等	
取組方針	生涯学習施設の整備・充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 団体育成事業 個人学習支援事業 貸館事業 施設維持管理事業 小林公民館保全改修工事 小林公民館保全改修工事監理業務委託 本埜公民館保全改修工事 本埜公民館保全改修工事監理業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 団体育成事業 個人学習支援事業 貸館事業 施設維持管理事業 本埜公民館保全改修工事 本埜公民館保全改修工事監理業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 団体育成事業 個人学習支援事業 貸館事業 施設維持管理事業 中央駅前地域交流館及び(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の指定管理者による管理運営
事業費	827,072千円	972,705千円	505,512千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-4	公民館費	公民館運営審議会運営費
	9-5-4	公民館費	中央公民館運営事務に要する経費、小林公民館運営事務に要する経費、そうふけ公民館運営事務に要する経費、印旛公民館運営事務に要する経費、本埜公民館運営事務に要する経費、中央駅前地域交流館運営事務に要する経費
	9-5-4	公民館費	中央公民館事業活動費、小林公民館事業活動費、そうふけ公民館事業活動費、印旛公民館事業活動費、本埜公民館事業活動費、中央駅前地域交流館事業活動費
	9-5-4	公民館費	中央公民館施設管理に要する経費、小林公民館施設管理に要する経費、そうふけ公民館施設管理に要する経費、印旛公民館施設管理に要する経費、本埜公民館施設管理に要する経費、中央駅前地域交流館施設管理に要する経費
	9-5-4	公民館費	ふれあい文化館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	公民館等主催事業(子ども対象事業、大人対象事業等)の実施 ・子ども対象事業 38事業 12,926人 ・大人対象事業 35事業 3,158人 ・共催事業 4事業 153人 ・団体育成事業の実施 131団体 ・個人学習事業の実施 3,602人 ・貸館事業の実施 169,352人 ・施設維持管理事業(中央公民館 4,306,280円 印旛公民館 813,910円) ・小林公民館保全改修工事 287,500,000円(令和4・5年度継続) ・小林公民館保全改修工事監理業務委託 6,050,000円(令和4・5年度継続) ・本埜公民館保全改修工事 94,800,000円(令和5・6年度継続) ・本埜公民館保全改修工事監理業務委託 4,603,500円(令和5・6年度継続)	当初予算	827,072,000円
		予算現額	876,941,000円
		決算額	582,626,901円
		翌年度繰越額	222,236,500円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	主催事業実施数	事業	目標値	70	75	70	75	80
			実績値	51	67	77		
	公民館定期利用団体数(利用者登録団体)	団体	目標値	230	240	240	240	240
			実績値	136	133	131		
				目標値				
				実績値				
成果指標	主催事業参加者数	人	目標値	24,000	24,000	23,800	24,700	25,000
			実績値	11,838	15,241	16,237		
	公民館利用者数(延べ総数)	人	目標値	200,000	226,000	220,000	235,000	242,000
			実績値	111,626	152,964	189,191		
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	事業を順調に実施したものの、その事業体験をきっかけとしたサークル立ち上げには至らず、既存サークルの解散も見られ団体数は減少した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	一部の公民館で改修工事があり利用できない時期もあったが、他館の利用を促すなど、事業参加者数及び利用者数は共に昨年度より増えたが、目標値には届かなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	事業への参加者数や公民館利用者数は目標値に届かなかったものの増加傾向にあることから、今後も継続した事業を行っていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	より魅力的な事業の企画や、その周知方法を検討し実施する。より多くの市民に事業へ参加いただくことや公民館利用団体への支援が、新たなサークル立ち上げのきっかけや既存団体活動の活性化へつながるよう努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	38
1. 事業の概要				
実施計画事業名	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成	担当部署名	生涯学習課	
事業の実施目的及び概要	子どもたちを地域ぐるみで守り育てるために、学校・家庭・地域との連携を図り、青少年の健全な育成にむけた活動を行います。 また、家庭における教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 第2期印西市教育振興基本計画 新・放課後子ども総合プラン 次世代育成支援対策推進法他	
取組方針	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> ・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の検討 ・二十歳を祝う会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の検討 ・二十歳を祝う会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の検討 ・二十歳を祝う会の開催
事業費	9,111千円	9,111千円	10,831千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-2	青少年対策費	青少年相談員運営に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	青少年対策事業活動費
	9-5-2	青少年対策費	家庭教育学級事業
	9-5-2	青少年対策費	二十歳を祝う会に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	放課後子ども教室に要する経費

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・こども110番の看板・ステッカーの配布を行った。 ・社会を明るくする運動青少年健全育成大会は若者が犯罪に巻き込まれる実情について講演をいただいた。 ・青少年相談員連絡協議会事業、地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業及び家庭教育学級事業の活動支援として補助金を交付した。 ・家庭教育学級について必修学級28学級、任意開設の学年学級6学級を開設した。各学級3～5回程度の学習会を開催し、1375名が参加した。 ・放課後子ども教室については滝野小学校48人、本埜小学校24人で開設し、計20回実施し、延べ72人が参加した。 二十歳を祝う会を開催し、716名が参加した。	当初予算	9,111,000円
		予算現額	9,111,000円
		決算額	6,865,839円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	放課後子ども教室開催数	回	目標値	24	36	36	36	36
			実績値	16	20	20		
	家庭教育学級講座開催総数	回	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	95	147	147		
	家庭教育学級開設学級数	学級	目標値	42	42	42	42	42
			実績値	33	33	34		
			目標値					
			実績値					
成果指標	こども110番協力家庭・事業所数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,466	1,543	1,601		
	放課後子ども教室参加児童数	人	目標値	90	110	110	110	110
			実績値	62	81	72		
	家庭教育学級講座参加者数	延べ人数	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	1,051	1,557	1,375		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値には到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標を上回る成果を果たした項目もあるが、それ以外の活動については活動の活性化に向けた創意工夫と関係者の理解が必要
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標値には到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成の推進を図るため、事業を継続する。